

||||||| 共働・共助による事業活動の推進／自主・自立による組織活動への参加 |||||

シルバー

新年号

2012

せたがや



勝光院の竹林 撮影 落合 泰造

ゆとり持て 急ぐ心に 事故が待つ
バランスは 体と心の 二重奏
安全は 目と手と耳で 確かめて



平成24年1月1日発行 通算第128号／編集発行・公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター
本 部：〒156-0051 世田谷区宮坂1丁目24番6号 宮坂区民センター内 ☎03(3426)9211(代)
烏山支部：〒157-0063 世田谷区粕谷1丁目7番34号 ☎03(5316)1371

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/setagaya/>



2012年 年頭に当たって



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
会長

竹内 弘

皆様、お健やかに新しい年を迎えられたことと、お慶びを申し上げます。

昨年は、景気の不透明感が続くなか、東日本を襲った大震災や相次ぐ台風による大水害など、国民生活を一変させるような出来事が多くありました。

シルバー人材センターにとりましても、再度の「事業仕分け」による大幅な補助金削減など、厳しい財政運営を余儀なくさせられた年でした。そうした環境のなかで、懸案の新公益社団法人への改訂も、皆様のご協力により無事に移行認定を受け、昨年4月1日から新法人として新たなスタートを切ることができました。

また、役職員・会員のたゆまぬご努力により、厳しい状況下ですが、新規事業をはじめ全ての事業において順調な実績を残すことができました。あらためて皆様のご努力に感謝と敬意を表する次第です。

昨年、世界の人口は70億人に達したとのことですが、しかし、我が国の人口は2005年以来減り続け、国の人口推計によれば40年後には約9,000万人となり、その約40%が65歳以上の高齢者になるそうです。

私たちは、超高齢社会を迎えつつある時代の変化を見据えながら「残る人生を無駄遣いしないよう」精いっぱい自分や地域のため、今年もおおいに躍動しようではありませんか。



公益社団法人
世田谷区シルバー人材センター
名誉会長
世田谷区長
保坂 展人

明けまして、おめでとうございます。

世田谷区シルバー人材センターの皆様には、さわやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターの皆様が、日々、地域の中で手のかかる仕事を続けて汗を流されていることに敬意を表します。

昨年3月、未曾有の大災害となった東日本大震災と原子力発電所の事故を経験し、物質的な利益や損得に振り回されるよりも、「人と人とのつながり」や「地域の絆」の大切さを改めて認識したという人が増えたといわれています。

高齢化が進む中、こうした地域の「絆づくり」を進めていくには、皆様のお力が不可欠です。

「おたがいさま」、「おたがいさま」で気軽に支えあえるまちをつくっていきたくと考えております。

本年も、会員の皆様が、これまでの知識や経験をいかし、働くことにより、生きがいと健康づくりをすすめるとともに、地域社会の発展を支えてくださるよう期待しております。

結びに、シルバー人材センターのさらなるご発展と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

注) タイトル左端の絵馬は、「せたがや文化祭」で作成。

賀正

本年もよろしく願ひいたします

事務局 局長	監 事	理 事	常務 理事	副会 会長
青 山 善 一 同	澤 田 昌 博	奥 谷 英 雄	松 南 美 代 子	前 橋 俊 允
		高 田 和 夫	菅 野 和 昌	清 水 富 昌
		木 村 万 久 子	伊 藤 正 紀 子	溝 口 俊 猛
				衣 笠 一 弘



▲ 勝光院 本堂の龍の木彫り

会員憲章（アイデア）をご提案ください



「世田谷区シルバー人材センター」が誕生して、今年が34年目となります。

この間、私たちは「働くことを通じて生涯を社会貢献する文化」を創りつつあると思います。シルバー人材センターの基本理念である「共働・共助」「自主・自立」のもとで、会員の皆様によって成された成果でもあります。しかしながら、今日、私たちのセンターには心をつなげる「合言葉」も、誇りにできる「印」もありません。

現在、「会員憲章策定委員会」でアイデアを検討中ですが、広く皆様から「会員憲章（アイデア）」を募集し、それらを参考とさせていただきたく、下記要領によりご応募をよろしくお願いいたします。

- ・ 募集題名：当センター会員憲章（アイデア）
- ・ 募集期限：平成24年 1月31日
- ・ 募集内容：短い前文と箇条書きとする（例参照）

立川市シルバー人材センターの例

私たち会員は、「共働・共助」「自主・自立」の基本理念のもと、その知識と経験を社会に役立て、地域社会のなかで健康で生きがいのある生活を営み、高齢社会に向けて豊かで活力のある社会を目指して、この憲章を定めます。

私たちは

- 1 私たちのセンターを私たちが育てていきます
- 1 お互いに仲良く助け合って働きます
- 1 経験と能力を生かし一生懸命責任をもって仕事をを行います
- 1 地域社会に貢献するセンターになるよう努力します
- 1 常に健康と安全を心がけていきます

参加して 楽しもう！ 第33回いきいきせたがや文化祭開催

10月20～21日、世田谷区民会館で「第33回いきいきせたがや文化祭」が開催されました。

高齢者クラブ・生涯大学・当センターの3団体が実行委員を出し、一般も含めて123団体が参加し、日頃研鑽を重ねた作品や演芸を披露し、相互の交流を図りました。

当センターからは、衣笠副会長が実行委員会を代表して開会の辞を述べ、司会・舞台の裏方・作品展示会場の監視等に全理事や会員が参加し、演芸ではカラオケの3チームが出演しました。

ホールでは、華やかなフラダンス、日本舞踊、民謡、和太鼓、かっぽれ、コーラス等が披露され、展示会場では、絵画・写真・書・木像等の彫り物・手芸品・フラワーアレンジメント等の力作が並んでいました。

一角では、費用50～100円、30分程でブローチやペンダントが作成できる七宝焼き、干支を彫り絵馬を造る木彫、葉書作成の紙すき等、工芸体験コーナーが大人気でした。

2日間の来場者数は、7,513人と盛況でした。



◀ 当センターの作品展示場

華やかな衣装のダンス ▶



会長も出演の当センターカラオケグループ ▼



▼ 七宝焼きコーナー



◀ 木彫コーナー

▼ 木彫講師 上野毛組 清水巖氏作品



平成23年度 班長研修会

10月24日、25日



▲ 上 烏山センター 下 しゃれな一どホール

10月24日～25日に、班長研修会が三茶しゃれな一どホール、烏山区民センターにおいて開催されました。

24日は、世田谷・北沢・玉川地域の班長69名、25日は砧・烏山地域の51名が出席し、竹内会長より「公益法人化の背景や変革の必要性、地域班の活動、高齢社会におけるセンターの役割」等について講演があり、その後、それぞれが6グループにわかれ、2つのテーマでディスカッションが行われました。

3グループずつ、以下のテーマ1と2にわかれて討論し、各地区の活動の紹介などを交えながら、短時間でしたが真剣な話し合いが行われ、各リーダーが、グループ議論の結果をまとめ、発表しました。

テーマごとに発表された主なものを、以下に列挙します。

1 地域組織におけるボランティア活動

- ①地域のボランティア活動と連携し、支援すべき。
- ②町内会等と連携が可能であり、ごみ拾い・交通安全の手伝いなどあるが、会員への周知が難しい。
- ③就業先や地域の方に笑顔でコミュニケーションに努める等、何気ないことが奉仕につながる。
- ④シルバー青年隊の活動を広くPRし、組長・班長に伝達周知して、センターとして実施すべき。
- ⑤「活動して楽しい。生きがいを感じる」ことがボランティアだから、自主的な参加が望ましい。

シルバー人材センター発行の
「シルバーせたがや」をお届けします

あなたの「組」の班長の

私 _____ です

今後ともよろしくお願ひします
(連絡先)



2 地域活動連絡会議(従来の懇親会)の進め方

- ①今年はセンターの助成金がなく、欠席者も多くなったようだ。500円の復活はできないのか。
- ②「会には、飲み物・つまみが必要で会費徴収してやりくりする」、「会費不要で済む」との両論あり。
- ③会議は「楽しむ・就業につなげる」ことより、会員の交流・親睦が目的で仲間づくりが主体だ。
- ④従来、自己紹介を行ったが、大勢の前で話せない人もいて、グループで話し合う場を作るとよい。
- ⑤連絡会議の講演テーマが、段々なくなっている。シルバー本部で講演や情報提供をしてほしい。

講評(会長・常務理事)

「新法人になり『ボランティア活動は事業の一つとなった。懇親会助成は経費上できない』と再認識願いたい。討議は各グループとも和気あいあい、仕事の本音も垣間見られ、有意義な研修会だった。今後は『一歩踏み出す』気持ちをもって活動してほしい」。

(会員活動活性化担当理事)

- ◀ 左の簡易版の「班長名刺」用紙が研修会資料で配布されました。班長さん活用願います。

表紙説明：勝光院の竹林と龍の木彫り



せたがや百景に選ばれた勝光院の竹林は、冬でも陽光が射すと緑に輝いています。勝光院は、1335年創建された世田谷城主の吉良家の菩提寺で、竹林以外にも名木が多く、鐘樓の梵鐘は区内で2番目に古いと言われています。

関東大震災や大戦の影響を受けながらも、檀家や近隣の人々の協力を得て、静謐なたたずまいを漂わせ、木像の「青面金剛像」など、多くの貴重な品々が保存されています。山門の正面にある本堂の階段を上がりきった頭上に、今年の干支「龍」の木彫りがあります。

東急世田谷線 上町下車 徒歩5分で、当センターからも近いので、足を向けてみてはいかがでしょうか。

◀ 勝光院山門 正面が本堂

平成23年度

平成19年度 入会会員研修会

11月21日、22日、24日



11月21～24日、入会5年次会員研修会が、等々力ワークプラザ、宮坂区民センター、烏山区民センターの3か所で開催されました。

竹内会長から「公益法人化の背景、センターの会員増や順調な実績の説明があり、本年の事故多発に対し「事故はヒューマンエラー。危険への感受性を磨いて」と挨拶がありました。続いて各回ごとに3人の理事経験者による講演が行われ、その後、共通課題に基づくディスカッションが行われました。

●谷萩耕一 講師の講演

(21日等々力) 14名参加
講師は理事歴10年。平成9年入会、地区会館管理の就業の傍ら組長に推されて懇親会等を主宰した。



当時、組は会員の連携がなく、就業や配分金に関する苦情ばかり。これらの問題点を組長連絡会で強調し、ホームページの充実を訴えた。これが縁で、センターの改革やIT化に熱心だった当時の常務理事から理事就任要請を受けた。

理事就任後、就業開拓部会で「全理事による発注者訪問」を提案し立ち上げ、次の就業適性化委員会では、平成20年秋の「就業意向調査」結果をパソコンでデータベース化、就業への会員意向反映に努めた。

本年のホームページ改訂は素晴らしい。今後、試行錯誤を重ねより良い方へ向かうよう期待している。

●田村 進 講師の講演

(22日宮坂) 24名参加
講師は理事10年、副会長を3期歴任。初期の駐輪場業務の体制づくり、システム開発、就業会員の教育にかかわる。受け入れ体制を確立し区から指定管理を受けることができた。



現在、早稲田塾の施設管理に就業。塾トップへの意見具申等で会員の優秀さが認められ、当初3名だった会員が12名に増員。更なる発展を期している。

就業場所で、みなさんも会員増のチャンスを見つけて欲しい。自立とは「常に努力して律する」、相互依存とは「お互いを信頼する」こと。シルバーはサービス業で「相手の言い分・本音を十分に聞く」のが解決に繋がる。

●猪狩俊彦 講師の講演

(24日烏山) 27名参加
講師は理事歴6年。長年シルバー入会時研修の講師にかかわってきた。



会員部会長るとき、「会員の8割は好評だが2割が苦情」と、「人間関係のまずさ」解消に研修実施を訴えた。

就業時は、お客様と会員、会員相互がより良い人間関係を築くことが最も重要ポイントである。

暗い顔、他人に厳しい、偉そうな振る舞い等は嫌われ、明るさ、優しさ、正確さが大事。自分本位ではなく、相手への思いやり・気配りのある人へ意識改革を。仕事では、P（パフォーマンス：積極的に仕掛ける）と、M（メンテナンス：持続できる関係づくり）が大切、表現テクニックも磨いて欲しい。

●ディスカッションの2つのテーマ

①「契約外の仕事を頼まれた(事故発生)」

②「共同作業でトラブルを起こした(ケンカ)」の2つのテーマを設け、グループごとに討論し、その結果をリーダーが発表する形式で進行了ました。

身近にあり得ることで、体験談も含めて活発に討論が行われ、①は、契約外で断るべきだが人情的に難しい。引受けると事故は保険の対象とならず、自己責任になる。事務局に連絡して断るべきだ、等の結論が各グループから多く出ました。

②は日頃の意思疎通が重要。事務局で就業歴も勘案し職種の向き不向き、組み合わせも配慮して欲しい。日頃からリーダーを中心に話し合い、仕事の共通認識を深める。リーダーを必ず決めておくべき、等が発表されました。

シルバー川柳

入場料 飲み物が
顔見て即座に割り引かれ 酒から薬に代わってる
等々力組 菅田 茂

講評(溝口常務理事)

「グループごと熱心に討論され実体験も踏まえた内容だった。就業規約等、この機会に確認され、就業時に役立てて欲しい。契約外の仕事を受けると『自己責任』となる。困りごとは、すぐに事務局に相談を」。

(会員活動活性化担当理事)

安全委員会からのお知らせ

安全委員会委員長
菅野 和昌

43か所の就業先に「安全パトロール」を実施

事故が増えています！安全就業を！

9月中、安全推進計画に基づき「安全委員会」の委員全員による安全パトロールを実施しました。対象は、自転車等駐車場など区の施設の就業先43か所で、安全点検の巡回です。就業会員から「熱中症対策」「健康管理」「自転車事故の防止」等への有意義な声を聞くことができました。

皆様のご協力に感謝いたします。

「安全は一人ひとりの心がけ」が大切です。就業時には「健康第一」「安全優先」に意を払い、作業方法の確認、用具の点検等、事故が起きないように日頃から十分な準備を心がけてください。就業中は、安全就業の意識を高めるため当センターが配布した「安全就業ワッペン」を常に付けるようお願いいたします。

東京しごと財団開催 23年度「シルバー人材センター安全・安心大会」

9月30日、東京しごと財団の「安全・安心大会」が開催され、安全表彰と講演が行われました。

安全就業優良センターには、昭島市と小金井市の両センターが選ばれ表彰されました。同時に「安全就業標語」の入選作品が発表され、当センターの永山省三会員も優秀賞で表彰されました（以下の作品・本号表紙にも掲載）。

「ゆとり持て 急ぐ心に 事故が待つ」

茨城大学の長谷川教授・外岡講師による講演で安全就業に参考となる心に残った言葉を以下に掲げて

おきます。

●安全・安心は豊かな人生を送るための基本

「老いの社会」を迎える日本にあって、シルバー人材センターは、「安全・安心」を追求し「老いの文化」をつくる。

●人間は思い込む動物（事故は思い込みから）

65歳になったら年寄りらしく、自分の能力を確認しながら年をとるのが「加齢」、自分の能力を錯覚して年をとるのは「老化」である。

注意

平成23年度 傷害事故発生状況

	月日 時間	性	年齢	職種等	事故状況と障害状況	入院日数 通院日数
就業中	3月31日 11:45	男	77	駐輪場管理	回り階段を降りる途中、階段を踏み外して転倒し後頭部を強打（頭部外傷）	通院2日
	4月8日 10:30	女	70	浴室清掃	洗剤で濡れた浴室床で足を滑らせ背中から転倒し、打撲、胸椎圧迫骨折（背・尻打撲、第11胸椎圧迫骨折）	通院20日 （後遺障害）
	6月7日 15:00	女	77	家事援助	掃除機を持ち階段で2階に昇る際、足を滑らせ階段を転落し強打（左鎖骨・肋骨（5か所）骨折、両手・左肩打撲）	通院22日
	6月13日 9:55	女	68	公園清掃	竹ぼうきで清掃中、雨に濡れた玉砂利に足を取られ、右足をコンクリートブロックに当て骨折（右足くるぶし骨折）	通院20日
	10月4日 11:00	男	74	植木剪定	就業準備中にスズメ蜂が飛び回り、蜂を刺激しないよう退避した直後に手を刺された（右手甲痛み・腫れ）	通院中
	10月13日 8:30	男	77	除草草刈	階段を降りつつ、共同作業者との相談しようとして振り向いた際、足を踏み外し階段を転落し、肩・頭等を強打（右鎖骨内側筋切断、脳内出血、瞳孔損傷）	通院中
就業途上 自転車	4月19日 22:25	男	69	会館夜間管理	帰宅途中、赤信号の交差点で停止の後、ペダルをこぎ始めたとき足ふくらはぎに痛み（右ふくらはぎ肉離れ）	通院9日
	7月4日 7:40	男	74	公園門扉開閉	就業途上、暑さでめまいがして運転中に転倒し胸を強打、病院入院（左肋骨骨折・打撲）	入院13日 通院12日
	9月22日 15:30	男	76	会館夜間管理	就業途上、一時停止を無視したバイクに衝突され転倒し、腰・臀部・脛を強打（左腰・臀部・左足脛打撲）	通院中
	10月1日 17:30	男	77	自転車等整理	帰宅途中、路地でバイクと接触・転倒し、左手・左膝・頸椎・腰を痛めた（左手関節打撲、左膝・頸椎・腰椎捻挫）	通院中
徒歩	6月16日 16:30	男	86	駅周辺清掃	徒歩で帰宅途中に、後方から走行してきた自転車に衝突され転倒（左腕骨折、前歯1本折損、口内外裂傷（4針縫合））	通院30日

今年、就業中及び就業途上の事故やケガが昨年に比べ倍増しています。特に自転車利用時は、安全運転、安全確認を！

就業中 6件 就業途上 5件 合計 11件 このうち2件は救急車対応 就業途上は男性のみ

ワークシェアリングに皆様のご協力を

最近、新入会員の増加が顕著となり、センターとして喜ばしい限りですが、増える会員に平等に就業機会の提供となると、手放して喜んではいられません。全理事による発注者訪問等で新規の仕事の開拓に努めていますが、それにも

限界があります。

このため、今後ともワークシェアを推進し、より多くの会員に就業機会の確保をめざしてまいります。皆様に趣旨をご理解賜りますようお願いいたします。

世田谷区シルバー人材センター

会長 竹内 弘

亡き母を思いながら

北烏山組 寒河江 正子

年金暮らしになったら、老人ホームでボランティアをしたいと思っていました。区報に芦花ホームのボランティア募集が出ていたので応募し、毎週木曜日ホームの食堂へ行くことになりました。

13:30~15:30の2時間です。花が好きなので庭の花を持って行き、小さな器に活けてもらっています。花を見ながら折紙をしたり、時には葉書に花の絵を描いてもらったり、アカペラで童謡やナツメロなどを利用者さんと一緒に歌ったりして、アツと言う間に2時間が過ぎます。

帰り際に「また来ますから元気になってくださいね」と言うのと「気を付けて転ばないように。また来てね」と利用者さんが答えてくれ、毎回、母に言われている気分です。

他人様のためにと始めたボランティアが、今は自分の元気の源になり、介護支援ボランティア手帳にシールが増えていくのも楽しみです。



我が家の介護奮闘記

奥沢組 村松 正志

夜中の2時、けたたましく吠える愛犬の声に目を覚ますと、階下の94歳になる義母の部屋から助けを呼ぶ声が聞こえます。慌てて部屋を覗くと、ベッドとポータブルトイレの前で右足首が完全に振じれた状態で倒れ、悲鳴を発していました。

無理に引っ張り起こすと右足が骨折しかねないので、まず右足首を正常状態に戻し、64kgの巨体を抱き起こすことは不可能と判断し、義母に抱きつき上下一回転したところで膝を使ってベッドへのせることに成功しました。

幸い軽い捻挫程度ですみ、妻と顔を見合わせ「ホッと一息」でした。こんな経験が14年も続くと要領を覚え、夜間1~2時間おきの排泄行為も、寝かせた状態で「尿パット」の交換が手早くできるようになりました。

デイサービスの休み日や夜間の頻繁な排泄行為の介助でストレスが溜まっていく様子が分かるらしい妻の勧めもあって、5年前「当センター」に入会しました。除草作業に就業し「こんなに綺麗にさせていただいて」と感謝されることが、今の最大の喜びです。

我家の「マッチ」、いつまでも元気で

南烏山組 松田 昭夫

我が家にイヌが一匹。名前はマッチ。13歳のオスのポメラニアンです。

いちばん肥っていた頃の体重は8.9kg。成人病が心配なのでダイエットをさせて6.0kgまで減量しました。自己体重をバーベル代わりに、鍛えた筋肉をそのまま残し脂肪分のみを減量することに成功したらしく、年齢のわりには体力旺盛で、医者知らずの状態です。

小型室内犬なのに、とにかくよく歩きます。いちど外に出るとなかなか帰りがりません。桜の季節には、神田川か玉川上水の沿道を歩いて、芦花公園から井の頭公園までを往復したことも何度かあります。おかげ様で、引率の人間も健康をいただいている面が多々あります。

完全に家族の一員となっている今、何歳までこんなに元気に歩いてくれるかわからないけれど、いつまでも長生きして欲しいと願っています。

上祖師谷組有志で楽しんだ箱根旅行

上祖師谷組 塚本 辰男

地域の懇親会がきっかけで6年前から毎年、組の有志による1泊親睦旅行を行っています。

今年は、10月16日、箱根湯本温泉の「パークス吉野」に1泊することになり、千歳烏山駅で集合、新宿から小田急ロマンスカーで一路、湯本温泉へ。

到着後早速眺めの良い温泉につかり、気分は最高でした。宴会が始まり笑いに包まれながらカラオケ大会へ発展。参加者は12名。初参加の高品支援理事の「こんなに愉快的旅行は他にはない」という発言が印象に残りました。

旅行をプロデュースした大平組長、終始ユーモアで旅行を盛り上げた高木会員の両氏にお礼を申し上げます。次回を楽しみにしています。



会費納入のお願い

平成22年度及び23年度の会費（年額1,000円）が未納の方は、早急に宮坂本部又は支部にお納めください。

事務局 だより

●配分金振込日予定●

12月分 1月17日(火) 1月分 2月13日(月)
2月分 3月13日(火) 3月分 4月12日(木)

配分金振込みは支払日に指定口座へ入金されますが、給与振込みと違い、全ての口座へ午前中に入金されるわけではありません。ご了承願います。

定時総会開催日のお知らせ

公益社団法人のもとでは、従来3月に開催されていた定期総会はありません。

本年度から呼称も、「定期総会」を「定時総会」と改め、平成24年の定時総会は、平成24年6月14日(木)午後1時30分から、世田谷区民会館ホールにおいて開催の予定です。定時総会は、主に役員を選任や決算等を審議・承認をいただくことと、23年度の事業報告、平成24年度の事業計画及び予算を報告する総会です。開催通知や議案内容等の資料は、開催月に入ってからご送付いたします。

当日は開催通知書の封筒をご持参ください。
なお、封筒は会場受付にお渡しください。

平成24年版「会員手帳」を販売しています。

会員の心得、センター就業の仕組み、傷害保険のあらまし、万一就業先で事故にあったとき、問い合わせ先、かかりつけの病院名などを記入する欄もあります。また、健康チェックや体験等記録欄もあります。月ごと、日ごとの記帳ができ、別冊アドレスブックが添えられています。

会員特別販売価格200円（定価330円）、部数に限りがありますので、お早めに。

宮坂本部、烏山支部でお求めください。

就業についてのご相談は

理事による「さわやか相談窓口」は、毎月第2月曜日です（1～3月は下記日時）。事務局窓口では、窓口開設中はいつでも相談できます。

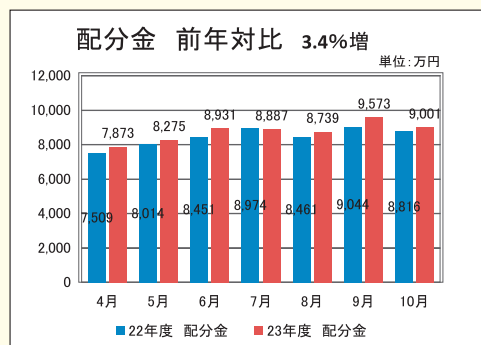
相談時間：午前10:00～ 午後13:00～
場 所：宮坂本部

1月10日(火) 2月13日(月) 3月12日(月)

事業実施状況（平成23年10月末現在）

会員数 男 2,127人
女 813人 計 2,940人
受託件数 4～10月 12,425件
契約金額 4～10月 7億3,744万円

*会員数は、前年10月比で92人（3.2%）の増となり、まもなく3千人を突破する勢いです。事業実績は、前年4～10月比で、受託件数が民間受託を中心に1,083件、契約金額が2,052万円、配分金額が2,009万円（率で各9.5%、2.9%、3.4%）の増となりました。会員数が急増の折、会員の皆様にも、ご近所へのPRなど仕事の開拓をお願いします。



編集後記

9月号「会員のページ(P7)」に掲載された、江口徹氏の「東日本大震災と『なでしこジャパン』の記事編集について、江口氏、関係者と読者に深くお詫びいたします。

筆者から「字数超過を短縮する際には連絡を」とのご連絡があったにも拘らず、編集担当の一存で修正し、了解を得ないまま掲載いたしました。このため「優れた資質と不屈の力を兼備する日本国民の優秀性を指摘したい」との筆者の真意等が正確に伝わらず、ご迷惑をおかけいたしました。

今後、投稿記事の修正の場合など、必ずご了解をとるほか、事務局担当とも十分連携を図るなど、編集に万全を期してまいります。（編集委員会）

..... みんなで会員を増やして地域に貢献

生きがいとたのしい仲間が待っています
現在約3000人の会員がいます。仕事だけでなく趣味（カラオケ、ゴルフ、ボランティアなど）のグループもあります。



高齢者にふさわしい仕事をご紹介します
高齢者が「社会参加」を求めています。生きがいのある仕事をご紹介します。センターが責任をもって実現します。

問い合わせ TEL (03) 3426-9211 宮坂本部